

## 2022（令和4）年度 地域連携学生ワークショップ 実施報告

テーマ： 未来ゼミ 2025 大阪・関西万博の未来 ～若者のアイデアで未来の大阪を救おう～  
日時： 2022（令和4）年12月17日（土）13：00～17：00  
会場： キャンパスポート大阪（大阪市北区梅田1-2-2-400 大阪駅前第2ビル4階）  
対象： 大学コンソーシアム大阪の会員大学（39大学）に在籍する学生を主とする  
講師： 近畿経済産業局 2025NEXT 関西企画室 石原 康行氏、田中 駿来氏  
参加者数： 16名  
（大学別）大阪大学7名（うち、大学院2名）／大阪学院大学2名／  
大阪経済大学4名／摂南大学2名／関西大学1名  
（学年別）1年生7名／2年生5名／3年生1名／修士課程2名／博士課程1名  
企画・運営： 大学コンソーシアム大阪 地域連携部会

### 1. 事業趣旨

本ワークショップでは、2025年の大阪・関西万博の開催にあたり、若者の万博への参加機運を醸成するとともに、若者がこれから歩む未来について、万博をキーワードに主体的に考えるきっかけを提供する。

近畿経済産業局の講師より万博の基礎知識について講演いただき、「タイムマシンに乗って未来から来た若者が現在の大阪を救う」という仮想のストーリーの下で地域課題を想定する。参加者は、具体的な解決策を自ら考え、また他の参加者と共に企画・提案する中で新たな気づきや学びを得る。

### 2. プログラム概要

時間	内容
13：00～13：05	・趣旨説明・講師紹介
13：05～16：30	・アイスブレイク（自己紹介・役割分担等）
	・万博と未来（基調講演）
	・ワークショップ ・個人検討 ・グループ検討1（企画案の集約） ・グループ検討2（メンバー入替のうえ、ブラッシュアップ）
16：30～17：00	大発表会&講評

### 3. 実施内容

#### <アイスブレイク>

- ・クルー（4名×4グループ）毎に分かれ、自己紹介、役割分担、クルー名の決定を行った。

#### <基調講演「万博と未来」>

- ・万博の起源は1851年、ロンドンにて行われた。日本の初参加は1867年のパリ万国博覧会である。これにより世界に日本の産業が世界に知られることとなる。
- ・1996年からは、単なる産業の紹介ではなく、「人類の課題解決の場」を目的としている。
- ・2025年の大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。未来社会の実験場をコンセプトとしている。2,828万人の来客を想定している。
- ・今、人類は環境問題、アフターコロナ、戦争等の問題、AIの発達等の変化があり、大きな時代の変換点にある。変化を想像して、新しいビジネスを考えることが大切である。

#### <ワークショップ>

- ・「関西救出アクションプラン」として、「2023年の現実」、「なりたい未来」、「万博を活用したアクションプラン」を個人およびグループ内で検討した。

#### <大発表会>

クルー毎に発表・意見交換を行った。インタビュー、コント形式など様々な工夫を凝らした形式で発表した。

参加者投票により、「本日のベストアイデア」が選ばれた。

### 4. 当日の様子

#### アイスブレイク



#### グループワーク



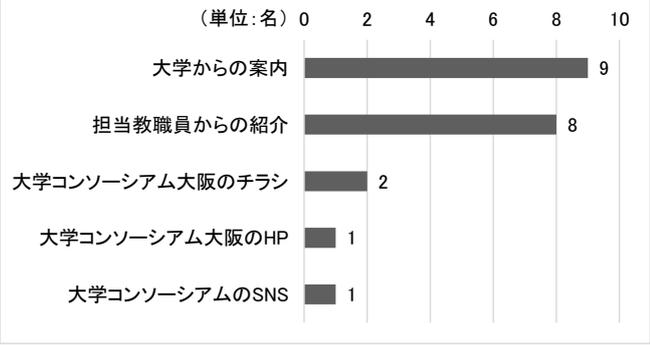
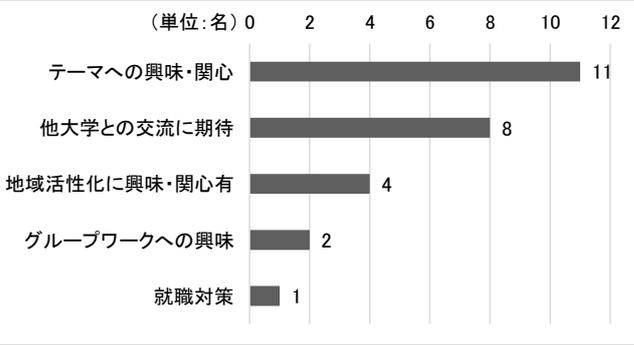
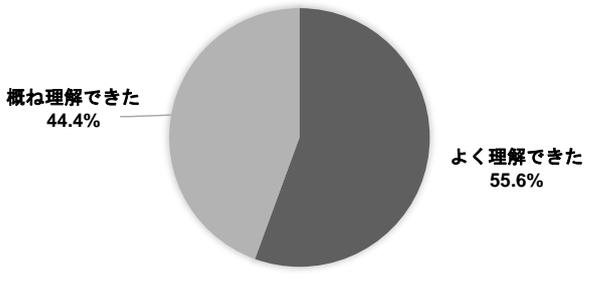
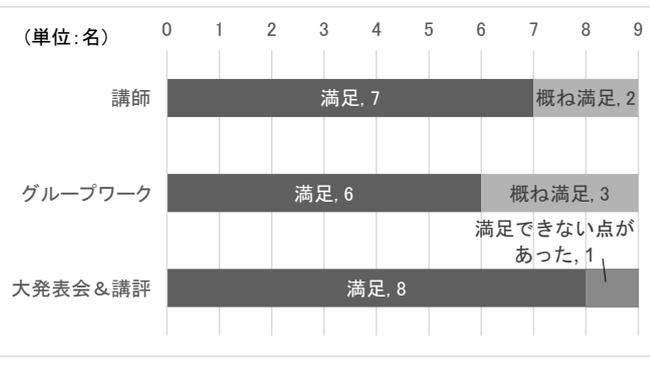


2022(令和4)年度 地域連携学生ワークショップ（2022年12月17日開催）

参加者アンケート集計結果

回答者数9名/参加者数16名

※設問1、2:回答者数 20名(申込フォームより)

<p><b>1.本イベントを知ったきっかけ(複数回答可)</b></p> <p>(単位:名) 0 2 4 6 8 10</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>きっかけ</th> <th>回答者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学からの案内</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>担当教職員からの紹介</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>大学コンソーシアム大阪のチラシ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>大学コンソーシアム大阪のHP</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大学コンソーシアムのSNS</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	きっかけ	回答者数	大学からの案内	9	担当教職員からの紹介	8	大学コンソーシアム大阪のチラシ	2	大学コンソーシアム大阪のHP	1	大学コンソーシアムのSNS	1	<p><b>2.参加動機(自由記述要約)</b></p> <p>(単位:名) 0 2 4 6 8 10 12</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>動機</th> <th>回答者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テーマへの興味・関心</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>他大学との交流に期待</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>地域活性化に興味・関心有</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>グループワークへの興味</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>就職対策</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	動機	回答者数	テーマへの興味・関心	11	他大学との交流に期待	8	地域活性化に興味・関心有	4	グループワークへの興味	2	就職対策	1
きっかけ	回答者数																								
大学からの案内	9																								
担当教職員からの紹介	8																								
大学コンソーシアム大阪のチラシ	2																								
大学コンソーシアム大阪のHP	1																								
大学コンソーシアムのSNS	1																								
動機	回答者数																								
テーマへの興味・関心	11																								
他大学との交流に期待	8																								
地域活性化に興味・関心有	4																								
グループワークへの興味	2																								
就職対策	1																								
<p><b>3. 実施日程について</b></p> <p>(単位:名) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>適切</th> <th>不適切</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施時期</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>時間帯</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>開催時間</td> <td>8</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;意見&gt; (開催時間について) もっと話を広げたかった。</p>	項目	適切	不適切	実施時期	9	0	時間帯	9	0	開催時間	8	1	<p><b>4. 理解度</b></p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>理解度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よく理解できた</td> <td>55.6%</td> </tr> <tr> <td>概ね理解できた</td> <td>44.4%</td> </tr> </tbody> </table>	理解度	割合	よく理解できた	55.6%	概ね理解できた	44.4%						
項目	適切	不適切																							
実施時期	9	0																							
時間帯	9	0																							
開催時間	8	1																							
理解度	割合																								
よく理解できた	55.6%																								
概ね理解できた	44.4%																								
<p><b>5. 満足度</b></p> <p>(単位:名) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>満足</th> <th>概ね満足</th> <th>満足できない点があった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講師</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>グループワーク</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大発表会&amp;講評</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目	満足	概ね満足	満足できない点があった	講師	7	2	0	グループワーク	6	3	1	大発表会&講評	8	0	0									
項目	満足	概ね満足	満足できない点があった																						
講師	7	2	0																						
グループワーク	6	3	1																						
大発表会&講評	8	0	0																						
<p><b>6. 本ワークショップに参加し、学んだことや良かった点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 万博を起点として、その歴史的背景や経済、世の中との関わりなどが分かり面白かった。</li> <li>・ 万博に関連して様々な計画が考案されていることを知る機会になり良かった。</li> <li>・ 以前から興味があった2025年の大阪万博についてより詳しく学ぶことができた。</li> <li>・ 年齢関係なく自分の意見を言い合えたこと、また具体的な課題に対しての解決策を考えることが、普段は考えないことであるため楽しかった。</li> <li>・ 色んな人と意見交換ができた。</li> <li>・ チームワークと柔軟性の重要性を学んだ。</li> <li>・ 万博の意味について学んだ。また、これからの社会をより良くするためにはまずは自ら行動することが大切であり、行動を継続していくことで、2030年の未来がワークショップの写真のような荒廃した世界になることを回避できるのではないかと感じた。</li> </ul>																									

<p><b>7. 本ワークショップの改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループワークでの役割分担が少し窮屈に感じた。</li> <li>・ 発表時、手元を移すWebカメラが書画カメラであると手ブレがなくて良かった。</li> <li>・ アイスブレイクの時間がもう少し欲しかった。</li> <li>・ 休憩の回数が少なかった。</li> <li>・ もう少し参加者数が増ければより楽しかったのではないかな。</li> <li>・ 実行をあまり考慮しない思考ばかりで、本気で未来を変える気概は、講師陣から欠片も感じられなかった。</li> </ul>
<p><b>8. 今後参加してみたい地域連携に関するテーマ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域連携系のソーシャルビジネスの事例紹介</li> <li>・ 具体的な町おこしを考えるワークショップ</li> <li>・ 実際に万博で開催されるイベントを斡旋する会があれば参加したい</li> <li>・ 少子化</li> </ul>
<p><b>9. その他、本ワークショップに参加した感想や上記で回答した以外の意見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「直感を大事に!」という言葉が個人的に心に残った。 楽しそう!、やってみたい!と思ったことに対して、頭でよく考えてしまうとやっぱり面倒くさくなってしまふことはよくあると思うので、直感力も大事にしていきたいと思った。今回のイベントは楽しそう、と思って直感で申し込んだもので、結果楽しかった。ありがとうございました。</li> <li>・ 参加者各々が持っている知識を共有することができたのでとても面白かった。今後もこのようなワークショップに参加したいので、メール等で紹介してもらえると嬉しい。</li> <li>・ 自分のコミュニケーション能力に対して少し自信を持てた。</li> <li>・ 目標を掲げながらも、実現させるビジョンが講師側に無くて残念であった。</li> </ul>

以上